

# 図書波だより

第 74 号

平成16年 4月 1日  
愛媛大学附属図書館

## < 新入生歓迎号 >

## 目 次

参考調査サービス利用のすすめ …………… 1	貸出期間の変更について …………… 7
特別な時空間 …………… 2	学生図書コーナーの設置について …………… 7
図書館は知識の泉, 想像かつ創造の場 …… 3	文庫本・新書コーナーの書架を更新 …… 7
図書館ホームページの紹介 …………… 4	視聴覚設備を更新 …………… 7
OPACの使い方(その1) …………… 5	附属図書館委員会 …………… 8
附属図書館で学術講演会を開催 …………… 7	図書館日誌 …………… 8

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

## 参考調査サービス利用のすすめ

上山友一

新入生諸君の大学生活が豊かになることを願って私の思い出話をしたい。大阪で大学院生であった頃に図書館の参考係でバイトをした。勤務条件とバイト代の割のよさ(通勤時間がなくてすむ上に、皿洗いでは時給 500円ほどしかもらえない時代に時給 800円もらえた。)に釣られて始めたのであるが、やり始めると仕事が性にあった。週に数回16時に出勤して一時間ほど書庫の本の整理と清掃やらカードの始末やらをして、その後二時間ほど、夜間開館中の参考係のカウンター係をした。掃除もカード整理も結構好きだった。(IT技術の進歩でもうカードなどもう昔話でしかなくなりつつあるが。)また、カウンターに座っている間も、お客様といえば文献複写依頼がほとんどだったので、業務はさほど忙しくもなく、SSCI(冊子体)をめくったり、自分の専攻とは違う分野の参考図書類を気の向くままに手に取ってみる時間的余裕があり、新しい発見があって楽しかった。さらに、係長さんに「法学に関わる参考図書の紹介パンフを作る気はないか?」と誘われて10ページ弱の手作りパンフを作成する機会を得て、自分の専門分野がらみの参考図書の知識をおさらい

できたうえに、粗製のパンフに謝辞までいただいてとても嬉しかった。このバイト体験のおかげで私の図書館利用は大きく変化した。そして、変化は人生の豊かさを運んできたと思う。

新入生諸君は図書館といえば「机の利用」「所蔵されている本の利用」を思うかもしれない。少なくとも高卒時点の私はそうであった。しかし、図書館にはそのほかにもいろいろの利用価値がある。私がバイトを通して遅まきながら再認識したのは図書館の参考(情報探索)機能の有益さであった。図書館との関わりは人それぞれであろうけれど、今までの自分の観念にとらわれることなく、今まで利用していない図書館機能を「早い機会に」試してもらいたい。そもそも人生の喜びや楽しみは、自分が育っていく(=変化する)ことにあるのだから、精神的若さに恵まれ柔軟性に富む新入生諸君には、図書館についても、新たな関係を見いだして豊かな人生をつくりだしてもらいたいと思う。

(うえやま ゆういち 法文学部総合政策学科)

## 特別な時空間

渥見秀夫

1960年代、国立大学の寮生活は、東京でも月1万円もあれば、何とかやっていけた。奨学金と家庭教師のバイトで十分だった。それでも親は決まった額の仕送りをしてくれた。それが、趣味の本代になった。

当時は、思想の時代だった。読みたい本が山ほどあった。趣味の本代の多くもそれらのために消えた。それだけに、趣味の中の趣味だった詩歌関係の本は、高価だったせいもあるが、買うか買わないか、いつも迷った。図書館にあるものは、もっと迷った。図書館にあって、自分で買う程ではないが、通読だけでは物足りないもの、—『高野喜久雄詩集』（思潮社）が、そうだった。

大学図書館の机で、ノートに書き写すことにした。借り出して自分の部屋でも書いたはずだが、その記憶は薄い。

### 水たまり

轍のくぼみ 小さな  
どこにでもある 水たまり  
ぼくらは まさにそれに肖ている  
流れて行く めあてはなくて  
埋めるものも 更はない  
どこにでもある 水たまり

ぼくらの深さ それは泥の深さだ  
ぼくらの言葉 それは泥の言葉だ  
泥の契り 泥の団欒 泥の頷き  
泥の etc

しかし  
ぼくらにしても いのちはないか  
空に向かう いのちはないか  
あの 水たまりのにごった水が  
空をうつそうと する程の  
ささやかな  
しかし一途な いのちはないか  
うつした空の 青さのように  
澄もうと苦しむ 小さなころ  
うつした空の 高さのままに  
在ろうと苦しむ 小さなころ

思想もなく、信仰もない、田舎出の泥臭い学生にとって、それは特別な時空間であった。  
二冊の大学ノートは、今も私の書架にある。

(あつみ ひでお 教育学部国語教育)



## 図書館は知識の泉、想像かつ創造の場

井上章二

恥ずかしながら、専門書以外の本や図書館とは本当に疎遠になってきたなと思うこのごろである。大学に怒濤のように押し寄せる変革の波にのまれ、落ち着いた教育・研究活動が阻害されてきているのかもしれない。それでも、偶に図書館の椅子に座して、調べものをしているときなどには、忘れかけていた懐かしい思いが蘇ってくるのを感じる。

もうかれこれ30年近く前、私が学生の頃を振り返ってみよう。図書館は、私にとって知識の泉であった。私はそれほど文学青年ではなかったが、月刊「文藝春秋」は欠かさず購読していて、そこそこの読書好きといった表現が最適ではなかったか。そんな私であったが、大学の図書館へ行くのは、読書ではなく、調査が主であり、思考のためであった。あの独特の静寂が、私の脳細胞を心地よく刺激したようだ。何かわからないことがあると、図書館に出向き、いろいろと関連資料を探して解決したものだ。当時、知識を得る手段として、図書館は唯一ではなかったが、それに近い存在であったことは間違いない。そればかりではなく、その時調べた事柄に関することやその他諸々のことについて構想を練る場であった。そこで想像を膨らませ、新しいものへの発想（創造）へと結びつくことも一、二度ではなかった。

私の場合は図書館へ足を運ぶという行動そのものが、大きな効果をもたらしてくれたわけで、これは今でもかなりの意味を持つと考えている。がしかし、現在の図書館は、インターネットと結びつき、電子図書館、e-Journal、e-Book とまさしく情報の山であり、図書館へ行かなくともいろいろなサービスを楽しむことができる。勉学の、研究の、その他何でも好奇心を満たすための必須ツールとまで進化したと言える。このツールをいかにうまく使うかが、成果を出すまでにかかる時間のみならず、成果品（レポート、研究論文等々）のできばえを左右するといっても過言ではない。学生、教職員にとって打出の小槌ともいえるべき図書館を大いに利用してもらいたいし、存分に使いこなしてもらいたいと願っている。

夏休みだったか、高校生の息子が学校の宿題で武田泰淳を読まなければならないと言ってきた。本棚からうっすらと埃をかぶった文庫本を引っ張り出し、息子に渡したのが『ひかりごけ』だった。佛門に生まれながらも世俗と縁を切れない泰淳自身の葛藤を直接的に記した『快樂（けらく）』も強く私の印象に残っていて、皆さんにも一読をお勧めしたい。学生時代に読んだ本の紹介をもって拙筆を置くことにする。

（いのうえ しょうじ

農学部森林資源学専門教育コース）



新入生の方へのワンポイントレッスン ①

図書館ホームページの紹介

ホームページからも入館ください

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

[開館カレンダー]

本館・分館の月ごとの開館日時がみれます

[館内案内]

館内の施設や利用が、スライドショーでみれます

[愛媛大学HPへ]

愛媛大学総合案内  
あいだい☆ナビ

[お知らせ]

図書館からの最新情報を掲載、要チェック

[利用案内・概要]

図書館の施設や資料配置と利用方法紹介

[蔵書目録検索(OPAC)]

図書・雑誌の検索

[電子図書館]

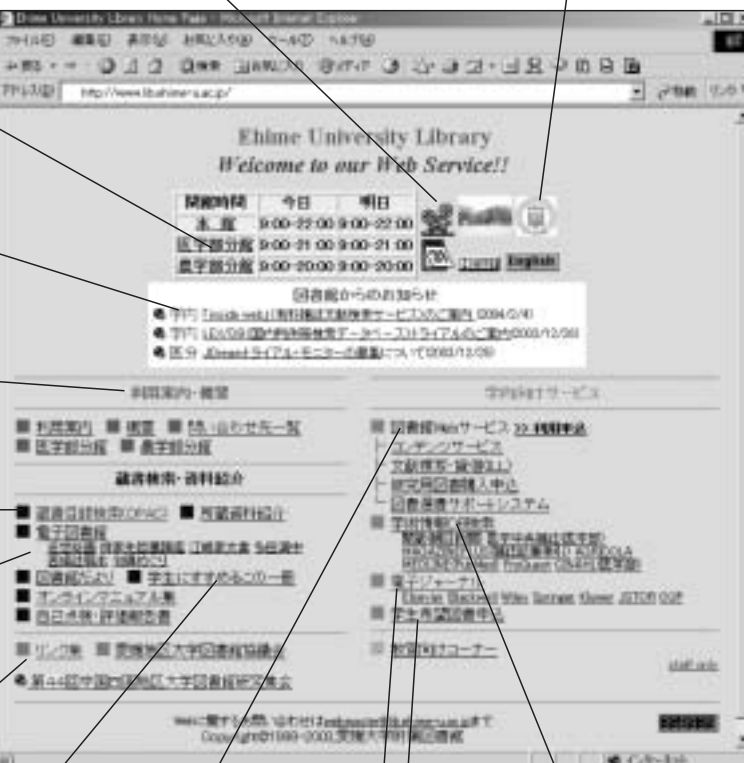
貴重資料等のデジタルコンテンツを紹介

[リンク集]

図書館関連機関、サーチエンジン、などへリンク

[学生にすすめるこの一冊]

本学教官の読書案内



[図書館 Web サービス]

HP を利用した図書館  
オンラインサービス

[学術情報 DB 検索]

国内外のデータベース  
がインターネットで検索

[電子ジャーナル]

雑誌の全文がみれます

[学生希望図書申込]

希望図書を、オンラインで  
申込できます

\*学内からのアクセスに限られるものもありますので注意してください

新入生の方へのワンポイントレッスン ②

OPACの使い方（オンライン蔵書目録検索）（その1）

1. OPACとは

OPACとは、Online Public Access Catalog の略で、オンライン蔵書目録検索のことです。現在ではほとんどの図書館において所蔵資料を探すツールとなっています。愛媛大学においても、古い資料はカード目録で探しますが、新しい図書と雑誌のすべてはこのOPACで探します。学習のテキストを探す、レポートの資料を探すツールとしてその使い方を覚えることが必要です。以下、簡単に概要と使い方を説明します。

検索画面への入り方



(1) 探すことのできる図書・雑誌

昭和63年度以降受け入れた図書並びに開架図書（皆さんが自由に手に取って見ることが出来る閲覧室に置かれている図書）と本館書庫内図書の一部で合計約52万冊、雑誌はすべて（約1万7千種類）のデータが登録されており、これらの図書・雑誌を愛媛大学のどこに所蔵しているかを探すことができます。

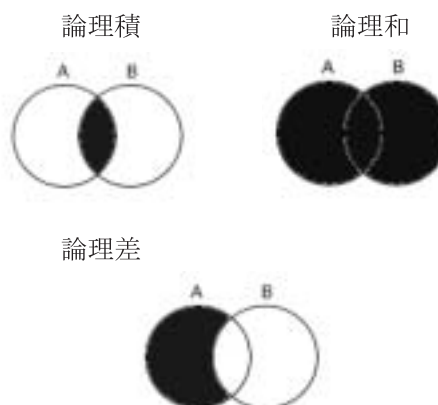
(2) 書誌情報と所蔵情報

書誌情報とは、1冊の図書について、書名（本題：副題）、著者・編者・訳者名、版次、出版地：出版者、出版年月、ページ数、大きさ（本の高さ、判型）（叢書名：巻次）、注記事項などのことです。

所蔵情報とは、この図書がどこにあるのか、図書館にあるのか、先生の研究室にあるのか、といった図書の所在の情報のことです。

(3) 検索の種類

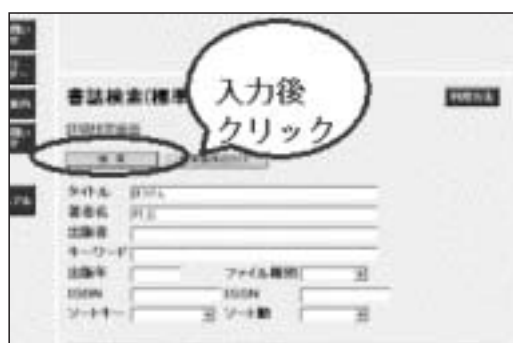
検索には、検索結果に、用語Aと用語Bをともに含む論理積検索、用語Aまたは用語Bを含む論理和検索、用語Aを含むが用語Bを含まない論理差検索があります。詳しくは、書誌検索画面の「利用方法」をクリックし参照してください。



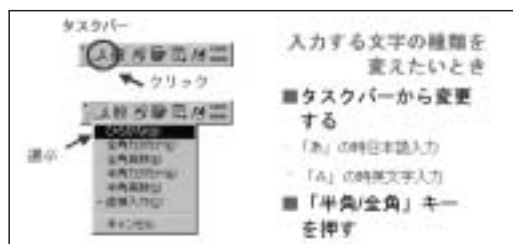
2. 検索方法

(1) 検索画面

「書誌検索（標準）」画面と検索項目を増やした「詳細検索画面」が準備されています。ここでは、「書誌検索（標準）」での検索方法を説明します。



(2) 検索の前に（日本語の入力方法）





タスクバーが表示されない場合は、検索語入力枠に文字を入力してみてください。

ローマ字で入力される時の日本語入力への変更は、キーボード左上の「半角/全角」キーを押してください。ローマ字入力したい時は再度「半角/全角」キーを押してください。

(3) 探したい図書の書名がわかっている場合 (書名検索)

「愛媛の自然をたずねて」(鹿島愛彦編著)を探します。(論理積検索に該当)

タイトルの枠内に

と入力し「検索」

ボタンをクリックするか「ENTER」キーを押すと検索を始め、書誌一覧の画面にかかります。「愛媛の自然」「愛媛△自然」(△はスペース)と入力してもかまいません。検索結果件数が多く表示されるだけです(不要なものが含まれます)。書誌一覧画面

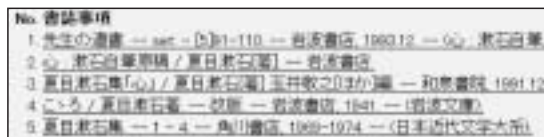


(4) 夏目漱石の小説「こころ」を探す



書名が「こころ」だけですとタイトルの項に「こころ」と入力ただけで検索しますと結果件数が多くなりすぎます。そこで「著者名」の枠内に「夏目」と入力して検索してください。また、著者名を入力しないで、タイトルの枠内に文字列による完全一致として「＃こころ」と入力・検索すると書名が「こころ」心のもののみが表示されます。(他の著者の著作を含む)

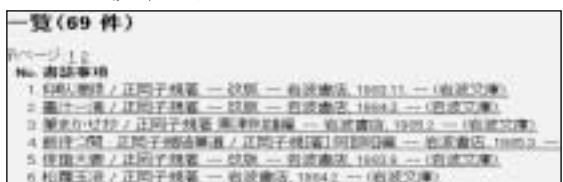
タイトル「こころ」著者「夏目」での書誌一覧画面



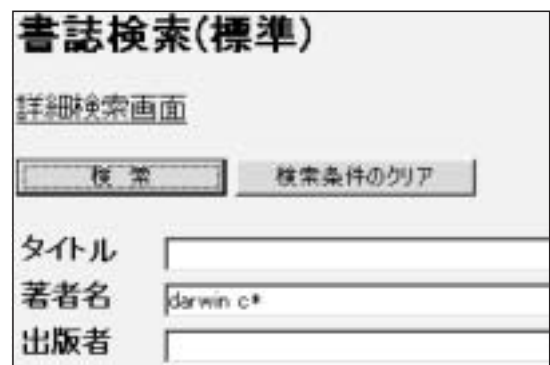
(5) 探したい著者名がわかっている場合 (著者名検索)

著者名の枠内に

と入力し検索実行



著者名検索は、「正岡」の姓だけでも、「正岡子」(規がわからない場合は)でも検索ができます。(ただし、不要なものが含まれます。)外国人著者は、原綴りで入力・検索して下さい。例のように名のイニシャルには「\*」をつけた前方一致検索をしてください。



例：正岡子規 ; 正岡 ; 正岡子 ; darwin c\*

(6) 雑誌を探す (誌名検索)

最初に「ファイル種別」を「SB 雑誌」に指定してください。

日本語の雑誌を探すときは、タイトル枠内に探したい雑誌名を入力してください。

入力例：現代化学

応用物理

欧文雑誌は、わかっている範囲内のスペルで下記のように「\*」をつけた前方一致検索をしてください。(biol\* chem\*)



誌名が一語の雑誌の検索方法  
(Science, Nature, 化学, 科学など)

書誌検索(標準)

詳細検索画面

検索 検索条件のコピー

タイトル

著者名

出版者

キーワード

出版年  ファイル種別

ISBN  ISSN

タイトルの枠内に"#science"を入力、「ファイル種別」の▼をクリックして「SB 雑誌」を選択・指定し、検索実行してください。#をつけて文字列検索を指示し文字列"science"

に完全一致する、誌名が一語の雑誌を検索します。タイトル枠内に"science"とだけ入力し検索すると膨大な検索結果が表示されてしまいます。

入力例

- 雑誌「nature」・・・"#nature"
- 雑誌「科学」(岩波書店)・・・"#科学"
- 雑誌「化学」(化学同人)・・・"#化学"

- 次号(第75号 2004.8)掲載 項目(その2)
- (7) あるテーマに関する図書を探す  
論理積・論理和・論理差検索例について
- 3. 検索結果の見方
- (1) 図書 (2) 雑誌
- 4. 「詳細検索」について

## 附属図書館で学術講演会を開催

附属図書館では、平成16年3月5日(金)に、国立情報学研究所開発・事業部次長小西和信氏を講師に招き、平成15年度附属図書館学術講演会を開催しました。

演題は、「学術情報提供サービスの革新」で、国立情報学研究所の最先端の開発事業を紹介するとともに、大学図書館の今後のサービスの展開について、豊富な経験をもとに講演されました。レジメ:

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/EHIME/koenkaikirouku.html> をご覧ください。

## 貸出期間の変更について

平成16年4月1日(木)から利用者の便宜を図るため、図書の貸出期間を下記のとおり変更します。

○本館及び農学部分館の開架図書  
2週間 → 3週間

○医学部分館の図書  
2週間のままですが、予約のない場合に限り、2週間貸出しの延長をします。  
(図書を貸出カウンターへお持ちください。)

## 学生図書コーナーの設置について

本館2階第1開架閲覧室に大学教育総合セン

ターの選定図書を配架した「学生図書コーナー」を設置しました。種々の分野の興味深い図書が置かれています。ご利用ください。



## 文庫本・新書コーナーの書架を更新

本館2階ラウンジ西の文庫本・新書の書架を側板・天板付きの使いやすい専用書架に更新しました。



## 視聴覚設備を更新

- ・DVD/VHS両対応デッキ3台 (本館)
- ・視聴覚ブース3台 (農学部分館)

- ・DVD/VHS両対応デッキ3台 (農学部分館)
  - ・液晶テレビ3台 (農学部分館)
- 老朽化していた機器を更新しました。



## 附属図書館委員会

平成15年度第2回附属図書館委員会

日時 平成15年12月24日(水)

場所 附属図書館視聴覚室

議事

### [報告事項]

1. 将来計画委員会報告
2. 図書選定小委員会報告
3. デジタルコンテンツ研究会報告
4. 国立大学図書館協議会関連報告
5. 中国四国地区大学図書館協議会関連報告
6. 愛媛地区大学図書館協議会報告
7. 教育環境改善経費実施計画の進捗状況について
8. 研究室貸出図書の蔵書点検について
9. 分館近況報告
10. その他

### [協議事項]

1. 法人化に向けた附属図書館関係規程等の整備について
  - (1)愛媛大学附属図書館利用規程の改正について
  - (2)愛媛大学附属図書館図書管理要項の制定について
2. 法人化以降の文献複写料金の設定について
3. 平成17年度以降の電子ジャーナルの整備について
4. その他

## 図書館日誌(会議, 研修)

- 11月6日 法人化対応規程班 WG
- 11月7日 中国四国地区国立大学附属図書館事務部課長会議(広島大) 今川事務部長, 五味情報管理課長出席
- 11月11日 平成15年度大学図書館職員講習会 ~14日 (大阪大)筒井係員出席
- 11月13日 第39回日本医学図書館協会中国・四国地区部会(徳島大)星川医学部分館情報サービス係長出席
- 11月17日 法人化対応 ILL 班 WG
- 11月18日 監査法人との打合せ
- 11月19日 法人化対応規程班 WG
- 11月27日 法人化対応規程班 WG
- 11月28日 第3回附属図書館将来計画委員会
- 12月1日 法人化対応 ILL 班 WG
- 12月2日 法人化対応財務管理班 WG
- 12月4日 監査法人との打合せ
- 12月8日 国立大学図書館シンポジウム(西地区)(神戸大)松本専門員出席 ~9日
- 12月19日 GIF と画像伝送システムの活用研修会(京都大)土出係員出席 ~20日
- 12月24日 第2回附属図書館委員会
- 1月9日 法人化取得に関する館長懇談会(東京大)今川事務部長出席
- 1月19日 平成15年度「学術情報リテラシー教育担当者研修(国立情報学研究所)福居係員出席 ~21日
- 1月22日 国立大学附属図書館事務部長会議(富山大)今川事務部長出席
- 2月13日 NACSIS-CAT/ILL 講習会担当者会議(国立情報学研究所)宮部係員出席
- 2月19日 法人化対応 ILL 班 WG
- 3月5日 平成15年度愛媛大学附属図書館学術講演会
- 3月8日 名古屋大学電子図書館国際ワークショップ(名古屋大)松本農学部分館情報サービス係長出席
- 3月16日 第3回附属図書館委員会